

ことば便り

墨田区立押上小学校
校長 島田 和久
ことばの教室 NO. 7
TEL 03-3617-6925
令和6年11月1日(金)



10月は25度を超える「夏日」が多くありましたが、11月に入り、やっと秋らしい気候になりましたね。「読書の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」など、様々なことが楽しめる季節です。ご家庭でも、子供たちの興味や関心に合わせて楽しんでみてはいかがでしょうか。

学校では、秋の行事に向けて準備をしている姿を見かけます。得意な子も苦手な子もいると思いますが、それぞれが自分のめあてや目標を達成できるよう、応援しています。

11・12月の行事予定

1日(金)区小研(難言) ※午後の通級はお休みです

4日(月)文化の日 振替休日

5日(火)都難言協江東ブロック研究会(午後) ※午後の指導はお休みです

11日(月)専門家診断(全日) ※指導は全日お休みです

11月 13日(水)グループ指導(吃音)(15時半～16時半) ※対象者に個別にお声掛けしています

15日(金)押上小25周年記念音楽会(児童鑑賞日)

16日(土)押上小25周年記念音楽会(保護者鑑賞日)

18日(月)押上小25周年記念音楽会振替休業日 ※指導は全日お休みです

26日(火)通級指導学級研究会(午後)

3日(火)都難言協江東ブロック研究会(午後) ※午後の指導はお休みです

4日(水)グループ指導(吃音)(15時半～16時半)

13日(金)個別指導終了日

12月 18日(水)学習発表会&お楽しみ会 (15:10～16:30)

21日(土)押上小土曜授業 25周年式典

23日(月)区小研(難言)

26日(木)～1月7日(火)冬季休業日 1月9日(木)個別指導開始

学習発表会&お楽しみ会 絶賛準備中です!! 参加の予定をお願いします。

日時 12月18日(水)
14:50受付開始
15:10～16:30
場所 押上小学校(体育館)

吃音グループの児童は、出し物を皆で考えて当日に披露します。楽しい発表になるよう準備をしていますのでお楽しみに!

その他、全員が楽しめるゲーム大会も行います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

読み書きが苦手……どうしたらいいの？

LDって何？

「LD(学習障害)」ということばを知っていますか？

学習には主に「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」といった能力が必要です。LD(学習障害)とは、全体的な知的な遅れはないのに、これらの能力のうち、ひとつまたは2つ以上についてなかなか身に付かない状態を指します。LDは、ある教科での勉強や学習内容が難しくなる3年生くらいから目立つようになります。原因ははっきりと分かっていませんが、本人の努力不足や家庭の教育の問題が原因ということはありません。

苦手さが学習全般に使われる「読み書き」にかかわっていると、日々の困り感は大きくなります。「やればできるのだから努力しなさい。」「練習が足りないからだよ。」と言われ、苦手なことを何度も繰り返し練習させられると、学習に対する自信を失い、「どうせ何をやってもできないんだ。」と学ぶことに対して投げやりな気持ちになってしまう子もいます。

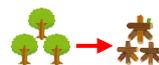


(参考文献:『ふしぎだね!?LD(学習障害)のおともだち』監修・内山登紀夫)

どうやって支援するの？

①その子に合った学び方を見つける

文字の獲得は「音韻意識」と「デコーディング」が関係しています。「音韻意識」はことばがいくつの音でできているか、どんな音なのかを捉える力です。「デコーディング」は文字を音に変換する力です。また、字や漢字がどんな線で構成されているかを見て理解する力が弱い子もいます。これらの苦手さを手助けしながら力を伸ばしていく必要があります。たとえば、「ねずみのね」「木が3つで森」など、絵を見ながら文字と音をマッチングさせて覚えるなどの方法があります。漢字は



「土^つぱん^{ぱん}早^はおき^{おき}月^{げつ}ようびで^{ようび}朝^{あさ}」など語呂合わせを唱えて覚えたり、形の捉えにくい部首やパーツを色分けして覚えたりする方法もあります。

聞いて覚えること、形を捉えること、体を動かして覚えること、順序立てて考えること、全体から部分の関係性を考えることなど、子供によって得意な力は異なります。やみくもに反復練習をするのではなく、得意を生かし、苦手を減らす工夫をしながら学習に取り組めるとやる気が高まります。



②道具やICT機器を活用する

読みやすくなるように工夫する



- 見える部分を絞って読みやすくする「リーディングトラッカー」や「リーディングルーペ」、スリットが入った厚紙を使う。
- 大きなマス目のノートを使ったり、書きやすい太めの鉛筆を使ったりする。
- デジタル教科書や「マルチメディアデイズ」の読み上げ機能を使用する。
- 板書や連絡帳などをタブレットのカメラで撮影する。
- キーボード入力や音声入力を活用する。

③合理的配慮を行う ↑上記に加えて

- 宿題や課題の量を調整する。
- ルビ付きのテストを使用する。
- テストなどの問題を読み上げたり、代理記入したりする。

書きやすくなるように工夫する



ことばの教室では、その子の力を様々な面から把握し、個々に合わせた課題を組み立てて学習しています。